

看護リハビリテーション学部看護学科

2017年度、2018年度卒業生、2019年度卒業生

研究に関する説明文書

1. 研究課題名

臨地実習において指導困難をきたした看護学生の特性と課題

(本研究は、中部学院大学・中部学院大学短期大学部研究倫理委員会の審査を経て、中部学院大学または中部学院大学短期大学部学長より承認を得ています。)

2. この研究の目的と意義

臨地実習において提出された情報提供用紙およびインシデント報告書を分析し、本校の看護学生が持つ課題を明らかにすることで、より効果的な教育的支援について検討するための有用な資料となると考えます。

3. 研究方法

対象：①2016～2018年度看護学臨地実習において提出された情報提供用紙 33 事例

②2016～2018年度看護学臨地実習において提出されたインシデント報告書 26 事例

分析方法：

①情報提供用紙 33 事例すべての内容を、「実習で気にかかること」「領域担当教員が関わったこと」「今後の課題」に分け、一内容一項目ずつ抽出する。個々の記録単位を意味内容の類似性に着目をしてカテゴリー化し、その分類を忠実に反映させたカテゴリーネームをつける。その後、PASW Text Analysis for Surveys を用いる有向レイアウトを図式化し、語句と語句の共起生をみる。

②インシデント報告書の内容を、「出来事」「事実経過」「原因の分析と今後の対策」「指導事項」に分け、SHELL モデルを用いて分析する。

4. 研究期間

倫理審査承認日～2021年3月

5. 研究の実施体制

研究責任者

中部学院大学看護リハビリテーション学部看護学科

助手 山田加奈子 研究の役割：データ分析・論文作成・学会発表

研究分担者

中部学院大学看護リハビリテーション学部看護学科

教授 今井七重	研究の役割：データ分析・抄録作成・学会発表
准教授 木村恵子	研究の役割：データ分析・抄録作成・学会発表
准教授 小松博子	研究の役割：データ分析・抄録作成・学会発表

6. この研究への参加に伴って生じる負担及び予測されるリスクについて

この研究は、既存の情報提供用紙及びインシデント報告書を用いて行うため、研究への参加に伴い生じる負担はありません。

7. 研究への参加とその撤回について

この研究への参加はあなたの自由意思によるものです。いつでも参加を取りやめることができます。同意されなくても、あなたに不利益になることは全くありません。

<研究への参加を拒否する場合の連絡先>

担当部署：中部学院大学総合研究センター

住 所：〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2丁目1番地

電話番号：0575-24-2238

F A X : 0575-29-3000

8. 研究に関する情報公開の方法

研究の最終的な結果は学会や学術雑誌で公表される予定ですが、結果は情報をまとめた形で報告されますので、あなたのお名前などの個人情報を特定できる情報が公開されることはありません。

9. 研究に関する情報の提供について

研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、問い合わせ窓口までお申し出ください。

10. 個人情報の取り扱いについて

氏名及び実習病院等の個人が特定される記録は削除し匿名化します。

11. データの保管及び廃棄の方法

研究のために集めたデータ情報のファイルにはパスワードを設定し保存し、研究責任者が責任をもって保管します。研究の中止又は終了後、試料は原則論文発表後5年、研究等の実施に係わるデータ等は論文発表後10年は保存し、その後、適切に廃棄します。

12. 研究にかかる資金源および利益相反について

この研究は外部からの資金提供を受けていません。また、既存の情報提供用紙を用いるため、研究対象者の費用負担もありません。研究遂行にあたって、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反は存在しません。

13. 研究対象者等及び関係者からの相談対応

【相談窓口】

中部学院大学 教育研究支援課

所在地：〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2丁目1番地

連絡先：0575-24-2238

E-mail：cgrd@chubu-gu.ac.jp

14. 知的財産権の帰属について

知的財産権が生じる可能性があります。その権利は、研究者および中部学院大学に帰属します。研究に参加していただいた方に、この権利が生じることはありません。

看護学科 実習における情報提供用紙

学年	1年： 2年： 3年： 4年：		
担当教員	教員暦		
※ 今回の問題点			
<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;"> ※*実習において気にかかることと *領域担当教員が関わったこと </div> <p style="margin-top: 10px;">仮説)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「看護過程（記録）」ができない ・「患児とのコミュニケーション」がとれない ・「保護者とのコミュニケーション」がとれない ・看護技術が実施できない ・感情コントロールができない 			
今後の課題			

※両面印刷を行い提出すること。